

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 12月 15日

事業所名 放課後等デイサービスKiddy四日市あかつき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	入口の階段には手すりを設置した。	現状、車いすの方のご利用・受け入れが設備的に困難な状態である。今後、できる限りの対策・対応を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月、個別支援会議を行い、全員で情報共有や支援方法の検討を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回の保護者等向け評価表の集計をした際に、行う。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		R7.1月から開所の為、今年度より、ホームページにて公表を行う。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		どのような方・団体を第三者機関とするかを含め、今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設内研修や外部研修に積極的に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約時のアセスメントの際に使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1回の活動会議にて、活動プログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に1回の活動会議にて、活動プログラムの立案を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		月に1回の活動会議にて、活動プログラムの立案を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		月に1回の活動会議にて、活動プログラムの立案を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		放課後は午前中・休学日は出勤～送迎の間に行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、送迎終了後、終了業務の中で行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録はHUGにて記載しており、終了業務時や月に1回の個別支援会議にて検証・改善を行っている。	

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に1度のモニタリング・計画の更新を行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		月に1回の活動会議にて、活動プログラムの立案を行っている。	
	20	放課後等デイサービス事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が自身の視点以外からも発言できるよう、事前に現場スタッフに情報を確認した上で、参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		毎月末までに、次月の下校時刻表・行事予定等が記載されたプリントのコピーを各保護者からの協力でいただいている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	過去・現在において、該当の児童がいない。	今後、医療的ケア児の受け入れに際し、Kiddy四日市あかつきで何ができるかを検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援管理責任者が訪問し、情報や支援内容の共有等を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	過去・現在において、該当の児童がいない。	将来、該当する児童が増えてくることを想定し、Kiddy四日市あかつきで何ができるかを検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて情報共有・連携を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域のイベント参加や児童館・公園等へ遊びに行くことで、地域の子どもたちとも接点を持ったり、遊んだりすることができている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		放課後等デイサービス事業所連絡会・児童発達支援事業所連絡会に所属し、年3回の合同研修と年1回の見交流会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やLINEにて、日常的に状況や課題の共有を行っている。 また、6か月に1回のモニタリング時にも、状況や課題を共有し共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングを行うことのメリット・デメリットを分析し、保護者様のご意見やご希望も聴き取り、開催するなどのような方法がKiddy四日市あかつきの保護者様に合っているかをスタッフと検討し、適切に提供できるよう熟考する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご説明している。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		LINEや電話等で随時行っている。 ご希望に応じ、面談での相談も承っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			2月に保護者を対象とした子どもたちが実際に行っている活動を体験していただき、狙いや効果についてお話する機会を設ける予定。 また、今後、保護者様方の不安の共有や、障害「者」となってからのサービスの概要などの説明等により、子ども達の将来の不安軽減を図れるような茶話会等のイベントも企画する予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		LINEや電話、対面にてお話を伺い、スタッフ全員で検討・共有・対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HUGにて毎日の活動を発信している。 また、LINEやHUGを利用し必要な連絡体制を構築している。	会報・機関誌については、保護者様のニーズも確認しつつ、発行を検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報に関わるデータの保管は鍵付きの書棚の中に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		日常の挨拶や会話などを行い、地域の方との相互理解に努めている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル作成・見直し・共有等を密に行い、保護者様には契約時にご説明している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月の避難訓練や定期的な委員会・研修を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部・外部の研修を積極的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		過去に契約された各保護者様へ改めて説明を行い、署名・捺印をいただいている。 今後、契約される方については、契約時にご説明していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に保護者様より情報提供いただき、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		問題となりえる事象が起こった際、報告書を作成し、個別支援会議または終了業務時に共有している。	